

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
2021年度第10回事業審査委員会 議事録

- 1 日時：2021年12月13日(月) 16：00～17：14
- 2 場所：東京都千代田区麹町3-6-5 麹町GN安田ビル4階 JPF事務局会議室（Web会議）
- 3 出席者の確認

事業審査委員総数6名のうち、事業審査委員会の成立要件である3分の2以上の出席が満たされている旨の報告がなされ、本会の成立を確認した。

事業審査委員

学識経験者：永井 秀哉（共同代表理事）

学識経験者：石井 正子

外務省：民間援助連携室 松田俊夫

学識経験者：堀場 明子

学識経験者：清水 研

事務局長：高橋 文晴

オブザーバー

外務省：川合 貴之

4 審議事項

- (1) 第一号議案：第8回事業審査委員会 議事録の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：承認。

- (2) 第二号議案：第9回事業審査委員会 議事録の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：承認。

- (3) 第三号議案：JPFモニタリング評価にかかる事業計画書の承認：1事案

〈JPF〉 イエメン人道危機対応モニタリング評価事業2021

結果：意見提示

事業審査分科会での条件：

1. 入札に関し、イエメンの複雑なコンテクストも勘案し、第三者評価業者の独立性や、国際標準に沿った評価実施能力といった点も選定において考慮していただきたい
2. 調査実施においては裨益者の回答を鵜のみにせず、その背景、理由を深掘する姿勢をもって今後のより良い事業形成につなげていただきたい
3. 評価結果が将来の事業に確実に活かされるよう、プロセス評価の視点を取り入れ、事業改善のメカニズム構築に努めていただきたい
4. モニタリング・評価において、事後の段階で過去を振り返り確認する評価だけに頼るのではなく、実施中のモニタリングにおいても可能な範囲で取り組んでいただきたい
5. ログフレームの指標にローカライゼーションに関する指標を追加し、JPF 内で議論を深めることに積極的に貢献していただきたい
6. イベント開催に関しては、本事業に費用を計上することの妥当性を再考いただきたい

事業審査委員会での結果：承認

事業審査委員会でのコメント：意見提示の6番目「イベント開催に関しては、本事業に費用を計上することの妥当性を再考いただきたい」を再考していただきたい

5 報告事項

(1) エチオピア紛争被害者支援について

(2) ガザ地区人道危機緊急対応プログラムの延長について

松田委員：事業審査委員会の資料に「民連室より～緊急準備金を使用した本プログラムの延長を行うほどの事態の緊急性が判断できないとされ、」とあるが、コアチームの協議に出席した際に、こうした発言は一切していない。ここは発言内容と違うので、この点だけ申しておきたい。

6 書面による報告

- (1) NGOユニットからの報告
- (2) 事業計画変更の報告
- (3) JPF事務局審議結果の報告
- (4) 固定資産処理の報告
- (5) 終了報告書審議結果の報告
- (6) コアチームの報告

7 次回以降の事業審査委員会開催日時と会場について

2021年度第12回事業審査委員会：2022年2月25日(金) 麴町GN安田ビル4F会議室

2021年度第13回事業審査委員会：2022年3月23日(水) 麴町GN安田ビル4F会議室